

(5) 効 果

山形県・秋田県の社会教育行政者および婦人教育関係者との交歓、共同研究により、研修参加者のもつ研究テーマの究明に得るところが多くなった。特に農村の婦人会活動については得るところが多く研修生の事後活動におよぼした効果はきわめて大きい。

7. 婦人学級生大会

(1) 趣 旨

県下各方面的婦人学級生が一同に会し、婦人学級の運営・学習内容・学習方法等の状況について、発表・交歓を行ない、当面する諸問題について研究協議し、学習効果の向上をはかり、婦人教育の振興に資する。

(2) 期日

11月12日（火）～13日（水） 2日

(3) 会 場

須賀川市体育館

(4) 参 加 者 数

婦人学級生・市町村教育委員会婦人教育関係者・婦人学級運営委員 400名

(5) 内 容

① 研究協議題

婦人学級の学習内容を深め、学習効果を高めるにはどうすればよいか。

② 研究部会

第1部会 A・B・C学級運営を中心として

第2部会 A・B・C・D学習内容を中心として

第3部会 A・B・C学習方法を中心として

③ 研究協議の方法

ア. 講演「家庭生活と地域社会」

イ. 事例発表

市民生活に関する学習 緑町団地婦人学級

職業に関する学習 会津坂下商工婦人学級

消費生活に関する学習 富岡婦人学級

家庭の生活設計に関する学習 飯野婦人学級

〃 植田白百合婦人学級

生産に関する学習 常豊婦人学級

ウ. 研究部会構成 3部会 10室

エ. 他県婦人学級視察報告 1名

オ. レクリエーション 歌唱

カ. 研究部会の報告

キ. まとめ・展示

(6) 効 果

須賀川市教育委員会の協力により、盛会に実施された。県下各地の状況が交歓され、参加者の意欲的な態度もみられ効果的であったと思われる。

8. 婦人学級の状況

開設者別婦人学級

年 度	計	文部省 委嘱	県委託	市町村 補助	公民館 教委	婦人 団体	教 団体 共催	婦人 有志 開設	その他
昭 43	473	39	8	84	240	24	68	10	—

9. 婦人教育指導員の設置

(1) 趣 旨

婦人教育の重要性にかんがみ、県教育庁教育事務所に、婦人教育指導員を置き、婦人教育全般の振興をはかる。

(2) 昭和43年度婦人教育指導員

管 内	氏 名	住 所
信 夫	白石 マツ	福島市南沢又北川原14の13
伊 達	古宮 千代	伊達郡保原町大字城の内27
安 達	鈴木イチノ	安達郡本宮町大字高木字高木30
郡 山	村上 栄美	郡山市中田町中津川字町42
岩 瀬	小松 淑子	須賀川市大町 385
西白河	五十嵐クラ子	白河市金屋町 100
東白川	木村 文江	東白川郡塙町大字塙字桜木町 202の 2
石 川	十文字セイ	石川郡石川町大字南山形字山田 1
田 村	木幡 久枝	田村郡三春町大字過足字館15
北会津	長谷川エイ	会津若松市湯川町 7番47号
南会津	遠藤 あき	南会津郡下郷町大字湯野上字大島乙81
両 沼	笠間 幸子	河沼郡柳津町大字藤字中居平3023
耶 麻	猪俣シヅエ	喜多方市寺町南5052の 2
いわき	菅波みのる	いわき市平旧城跡32の 5
双 葉	鈴木タ イ	双葉郡双葉町大字新山字北広町13
相 馬	林 テイ	原町市大原字清水86

(3) 効 果

婦人学級・家庭教育学級・婦人団体等の学習活動推進のよき助言者として活用され効果をあげている。

10. 文部省委嘱・県研究婦人学級

(1) 委嘱の趣旨

社会の進展・婦人生活の変化に対応した婦人の学習のすすめ方について研究を委嘱した。

(2) 学級名

① 文部省委嘱婦人学級 (39学級)

信夫郡飯野町飯野婦人学級

伊達郡保原町保原婦人学級

〃 霊山町中央婦人学級

二本松市杉田婦人学級

安達郡東和町太田婦人学級

郡山市安積町成田婦人学級

〃 喜久田婦人学級

〃 富久山婦人学級

〃 中野婦人学級

須賀川市第一婦人学級

岩瀬郡天栄村大里若妻婦人学級

〃 鏡石町婦人学級